

令和4年度第2回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(相談支援部会)

(1) 活動報告

第1回(4月対面実施):①昨年度実施報告/今年度予定の確認(年4回実施)・活動方針内容の共有 ②基幹相談支援センターより活動報告 ③グループスーパービジョン(GSV)・事例検討に関する意見交換→今年度はGSVを再開。基幹相談支援センターとの事例検討会との住み分けについては基幹運営会議で検討 ④各事業所の近況共有(下記(2)の課題参照)

第2回(7月対面実施):①事例を用いたGSV ②基幹相談支援センターより研修会のアンケート結果報告・内容についての意見交換 →第1回は虐待防止研修の実施(秋頃予定)、第2回は制度関係の予定。③運営メンバー選任についての意見交換 ④自立支援協会イベント系の選任→1名選出 ⑤区との課題共有についての提案→今後実施調整

(2) 課題

各相談支援事業所の現状として、利用依頼は常時あるが、すでに手一杯で新規受け入れ困難な状態が継続中。また、1人が受け持つケース数が多いため、職員の退職などがあると事業所内で対応できなくなる事態も予想され、苦慮している。区と相談してモニタリング頻度や提出書類の調整など実施している場合もあるが、根本的な解決には至っていない実情あり。計画相談を受けられない利用者が今後増加していくとなると、課題解決に向けた区との協議の場が必要と考えている。

(3) 本会議での報告・協議事項

<イベント係について>

部会では、①業務時間外の準備など、通常業務に加えての負担が多くかかるものでないようにしてほしい ②予算を計上してほしい ③イベントが目的に沿った内容であるかどうかの分析が必要、などの意見が出ている。

今年度、イベントは実施すると決定したので、上記内容について協議を継続してほしい

(4) 部会を超えて協議したい共通テーマ

特記なし

(5) その他

・部会長が体調不良のため7月末付で退任の意向→今後について部会員で協議中

令和4年度第2回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(高齢化・グループホーム対策部会)

(1) 活動報告
・9月上旬までにオンライン部会を行う予定。
(2) 課題
・事業所間の連携・・・利用者、保護者の高齢化への対応にあたって、事業所間(行政含む)で課題の共有まではできても、そこで止まってしまうケースも散見される。部会員から、「任せきりにせず、意識的に一緒に動く(協働する)ことで歩を進められるように努めている。」との意見もあった。 ・各グループホームからの個別報告として、「成年後見人選定の手続きが難航している」、「職員体制(勤務時間)、職員配置に関して迷うところがある」という声も聞かれた。今後、本部会が情報交換の場として機能し、課題抽出も行ってゆけるようにしたい。
(3) 本会議での報告・協議事項
・特になし
(4) 部会を超えて協議したい共通テーマ
・既存公的サービスの新規利用に円滑につなげるために、各事業所が心掛けるべきこと。 (本部会の場合、介護保険サービスとの併用や、成年後見制度など)
(5) その他
・特になし。

**令和4年度第2回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(一般就労部会)**

<p>(1) 活動報告</p> <p>第1回部会開催</p> <ul style="list-style-type: none">・日時 7月5日(火) 16:30~18:00・出席者 13名・内容 本会報告 副部会長選任 各部会員からの活動情報提供 事前アンケート(就労支援を行う中での疑問点など)の集計をもとに意見交換 <p>第2回部会開催は9月6日(火)</p>
<p>(2) 課題</p> <ul style="list-style-type: none">・多機能型で就労移行を行っている法人は、就労移行の利用者がゼロもしくは数人のため、事業が活性化していない。・多機能型で就労移行を行っている法人は、専任の職員配置となっていないため、他の事業が繁忙で部会への出席が難しい。・就労支援センターの取り組み(就労移回事業者のフォローアップ)が空回りにならないよう、工夫が必要。
<p>(3) 本会議での報告・協議事項</p> <p>特になし</p>
<p>(4) 部会を超えて協議したい共通テーマ</p> <p>特になし</p>
<p>(5) その他</p> <p>特になし</p>

令和4年度第2回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(施設就労部会)

(1) 活動報告
7/14 第1回部会「各事業所の近況報告」 ・コロナ下での作業開拓 ・職員の高齢化
(2) 課題
部会員の事業所での役割(現場対応or管理者)によって見えている課題が異なっていることが改めて感じられたので、その点をどのように部会内で扱うかということを検討したい。
(3) 本会議での報告・協議事項
特にありません。
(4) 部会を超えて協議したい共通テーマ
人材の確保・育成
(5) その他

**令和4年度第2回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(子ども部会)**

<p>(1) 活動報告</p>
<p>定例会 6月28日：田園調布特別支援学校見学 7月19日：障害者計画についてのグループワーク（現地開催及びZOOM） 8月16日：イベント進捗状況の確認、防災、各事業所の報告など（現地開催及びZOOM）</p>
<p>(2) 課題</p>
<p>① コロナ禍の事業運営</p> <ul style="list-style-type: none">・収入減、特に訪問看護事業所の業務の逼迫状況・家族全員陽性…在宅を余儀なくされた。ショートステイ、ヘルパー、施設利用できず、親子引き離せず、入院、ホテル療養できず。孤立した陽性者へ支援の手が行き届かない状況があった。・訪問系事業所によって、陽性者家庭への対応に違いあり。 <p>以上より、今後の支援体制について課題があると共有している。</p>
<p>(3) 本会議での報告・協議事項</p>
<p>特になし</p>
<p>(4) 部会を超えて協議したい共通テーマ</p>
<p>特になし</p>
<p>(5) その他</p>
<p>特になし</p>

**令和4年度第2回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(意思疎通支援部会)**

(1) 活動報告

・新型コロナの「桁外れな感染拡大」が引き続く中で部会員の方々の心配は想定以上に大きく、結果として部会活動を自粛せざるを得ない状況です。そのため、部会員の皆様へ部会長より直接電話連絡を入れて定期的に現状把握に努めている状況です。

(2) 課題

・オンライン対応(機材を使った遠隔操作など)自体、取り扱うことができず、一同に情報共有することが難しい状況にあります。またそれらに代わる直接的かつ効果的なやり取りが現状見いだせておらず、活動自体のあり方を考えているところです。

(3) 本会議での報告・協議事項

・コロナ禍で当事者にとって必要な情報を得にくい状況が続いており、代読や墨字対応など、当事者目線で出来る意思疎通方法を提案したいと思います。

(4) 部会を超えて協議したい共通テーマ

- ・首都直下型地震や豪雨災害など想定されている自然災害に対する対応について
- ・防災意識、現在への意識について
- ・単身者や家族不在時における緊急時の当事者対応力の把握について
- ・目黒区災害時個別支援プランの策定、活用について

(5) その他

・障害理解を促進する場を考えていきたいが、部会員の高齢化やコロナ禍等の様々な事情によって、会として対応の難しさを日々感じています。そのため引き続き部会員への定期的な連絡を通じて状況把握に努めていきたいと思います。

**令和4年度第2回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(防災部会)**

(1) 活動報告
<p>1 プレ会議</p> <p>(1) 開催 6月29日(水)</p> <p>(2) 参加者 9名</p> <p>(3) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正副部会長、事務局の選出 ・今後の防災部会の方向性について <p>2 第1回防災部会</p> <p>(1) 開催 8月18日(木)</p> <p>(2) 参加者 11名</p> <p>(3) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会員、正副部会長、事務局の紹介 ・年度内は3回程度の開催を予定し、開催前に事務局会議を開いて、部会当日の運営に関して一定の整理を行う。 ・年度内は部会委員が目黒区の防災対策の現状について、関係部署の協力を得て学習をして、共通認識を深める活動を中心とする。 ・来年度からは、各事業所が防災計画やBCP作成する際に活用ができるよう、協議会構成員(事業所)に向けて、防災に関する情報の発信を行っていく。 ・部会が再スタートし、体制固めをしつつ活動を開始する段階なので、部会メンバーは年度内は現時点のメンバーとし、新規メンバーの受け入れは来年度以降とする。
(2) 課題
<p>部会員は各々が防災部会の活動への希望や意見をもっているが、部会運営・活動の安定化を最優先するため、上記の内容で年度内の活動方向を合意した。</p> <p>今後運営を継続する中で、各々の思いを部会活動として合意形成をしていく中で、課題が発生してくると思われる。</p>
(3) 本会議での報告・協議事項
現時点ではありません。
(4) 部会を超えて協議したい共通テーマ
特になし
(5) その他
特になし